



Vol. 4

犬がでてくるおはなし

# こんにちは 絵本



—3才頃から—



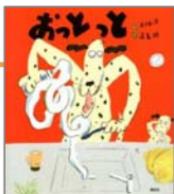
一宮市立子ども文化広場図書館

2013年4月

## おととと

木坂涼 文／高畠純 絵・装丁  
講談社 2010年

いぬのとうさん『おととと』。その時、がちょうも『おととと』。その顔、手足も大ふんとう！そして、あなたも『おととと』。スピード感あふれる文と絵がおもしろい喜びます。



## ゆうたはともだち

きたやまようこ 作  
あかね書房 1988年

『おまえ わらう。おれしっぽ ふる。』犬の目線で書かれていますが思わず笑ってしまいます。『ぜんぜん ちがう。だけど すき。だからともだち。』表情豊かな絵も思いをまっすぐ伝えます。



## ともだちがほしかったこいぬ

奈良美智 著  
マガジンハウス 1999年

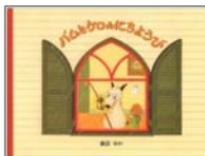
ぼくはさみしかった。いつもひとりぼっちで。だって子犬なのに大きすぎて誰にも気付いてもらえなかったから。でもね、ぼくにもともだちが出来たんだ。「またね!!」って。素敵な出会いの絵本です。



## ろくべえまってるよ

灰谷健次郎 作／長新太 絵  
文研出版 1975年

深い穴に落ちた犬のろくべえ。子どもたちは「まぬけ」と言いつつも、「ろくべえ、がんばれ」と助けようとします。でもどうすればろくべえを無事にひき上げることが出来るのでしょうか。



## バムとケロの にちようび

島田ゆか 作／絵  
文溪堂 1994年

しっかりものの犬バムと、いたずら好きのかえるケロは大の仲良し。二人が一緒なら雨の日曜日にも楽しいな。掃除も終わり、おやつもつくり、よみたい本もみつけたよ。やっと落ちついたと思ったら…。



## どろんこハリー

ジーン・シオン 文  
マーガレット・プロイ・クレアム 絵  
わたなべしげお 訳  
福音館書店 1964年

黒いぶちのある白い犬ハリー。ハリーはお風呂が大嫌い。ある日、たくさん遊んでどろんこになって帰ってきます。でも家の人は誰もハリーだと気付いてくれません。そこでハリーは…。



## どろんこハリー



## アンガスとあひる

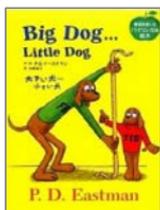
マージョリー・フラック 作・絵  
瀬田貞二 訳  
福音館書店 1974年

ととても知りたがりやのこいぬアンガス。かがみのこいぬはだあれ？「ガー、ガー、ゲーック、ガー！」の音はなあに？子どもの好奇心、冒険心がいきいきと伝わってくる絵本です。

## マドレンカのいぬ

ピーター・シス 作/松田素子 訳  
BL出版 2004年

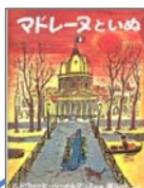
ニューヨークに住むマドレンカ。犬が欲しくてたまりません。そこで空想上の犬と散歩にでかけます。あなたにもマドレンカの犬が見えますか。楽しいしかけ絵本です。



## 大きい犬…小さい犬

P. D. イーストマン 作・絵  
木原悦子 訳  
鈴木出版 2010年

大きい犬のフレッドと、小さい犬のテッドが案内役です。二人は考えも好みも違えけれど犬の仲よし。物語の中で英語を楽しめるバイリンガル絵本です。



## マドレーヌといぬ

ルドウィッチ・ベーメルマンズ 作・画  
瀬田貞二 訳  
福音館書店 1973年

パリの古いやしきに暮らす12人の女の子たち。川に落ちたマドレーヌを助けた犬と一緒に暮らそうとしますが…。毎日をまっすぐ、元気にいきいきと、素敵に暮らすマドレーヌです。

\*出版年は、日本での初版出版年です。

# 日本の昔話にも、犬は登場しています。

## 『そばがらじさまとまめじさま』

小林輝子 再話／赤羽末吉 画  
福音館書店



## 『はやたろう』

松谷みよ子 監修／小沢清子 文／太田大八 絵  
小学館

## 『いぬとねこのおんがえし』

太田大八 絵  
鈴木出版



## 『花さかじい』

椿原菜々子 文／太田大八 絵  
童話館出版

## 『ももたろう』

松居直 文／赤羽末吉 画  
福音館書店



## 『もう一回読んで！！』

子どもは、同じ本を、何度でも、読んでもらう事が大好きです。「もう一回読んで」は、子どもが「お気に入りの本に出会えた！！」という事です。それはとても素敵で、大切な体験です。どうぞ、無理はしないで、出来る限りで応えてあげてください。「この時期だからこそ」を家族みんなで楽しめるといいですね。